

令和 7 年度 苫小牧市食育推進協議会 議事録

開催日時 令和 7 年 5 月 27 日(火)18 時 30 分～19 時 30 分
開催場所 本庁舎 5 階 第 2 応接室

出席者

- ・協議会委員 12 名
浅倉委員、荒物屋委員、岩城委員、遠藤委員、岡田委員、岡元委員、佐藤彩花委員、
佐藤和希委員、仲見委員、野村委員、星野委員、宮崎委員
- ・事務局 14 名
健康こども部長、健康こども部次長、健康支援課長、健康支援課主幹、
健康支援課長補佐、健康支援課副主幹、健康支援課主査 5 名、健康支援課栄養士
健康支援課主事、学校給食共同調理場長
- ・報道関係者 2 名

次第

1 開会

(司会)

定刻になりましたので、ただ今から令和 7 年度苫小牧市食育推進協議会を開催いたします。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございます。本日、司会を務めます、健康支援課課長補佐の石澤と申します。よろしくお願いいたします。

2 委嘱状交付

(司会)

はじめに、木村副市長から、委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。

事務局がお名前を読み上げますので、その場でご起立願います。また、委嘱状を受け取りましたら、ご着席願います。

＝委嘱状の交付＝

本日は、神開委員が所用のため欠席となっております。欠席の委員につきましては、後日、事務局を通じて委嘱状を交付させていただきます。以上で委嘱状の交付を終了いたします。

続きまして、木村副市長よりご挨拶を申し上げます。

3 副市長挨拶

(副市長)

本日は、お忙しい中、令和 7 年度苫小牧市食育推進協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。

ただいま、皆様に委嘱状を交付させていただきましたが、これから2年間どうぞよろしくお願いいたします。

食育推進計画は、食に対する価値観や暮らしの在り方も多様化し、健全な食生活の実践が困難な場面の増加から、市民が正しい知識を持ち、食を通した健やかな暮らしの実現を目指すため、令和4年度に第2次計画を策定し、令和8年度までの計画期間として、各施策を総合的かつ計画的に進めているところでございます。

本計画の推進にあたりましては、関係機関の皆様から様々な面でご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして御礼申し上げます。

のちほど、令和6年度の事業実施報告と、令和7年度の事業実施計画をご説明させていただきますが、協議会でいただいたご意見や議論が、これからの食育推進の取組において、たいへん重要な位置付けとなってまいります。

委員の皆さま方には大変ご苦勞をおかけいたしますが、忌憚のないご意見をいただき、今後の取組へ生かしてまいりたいと考えております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4 委員長・副委員長選出

(司会)

続きまして、委員長・副委員長を選出いたします。苫小牧市食育推進協議会設置要綱第5条により、協議会に委員長・副委員長を各1人置くこととなっており、委員長の選出につきましては、第5条第2項に「委員長は、委員の互選により決定する」と規定されております。

各委員の皆様には事前に事務局に一任のご回答をいただいておりますので、苫小牧市中学校長会推薦の岡元委員に委員長をお願いしたいと考えております。ご承認いただける場合は拍手をお願いいたします。

ありがとうございます。それでは、岡元委員を本協議会の委員長として、議事を進めてまいりたいと思います。岡元委員長、中央の席へご移動願います。

続きまして、副委員長の選出についてでございますが、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第5条第3項に「副委員長は委員長の指名により決定する」と定められておりますので、委員長から、副委員長のご指名をお願いいたします。

(委員長)

それでは、副委員長は、苫小牧地方食品衛生協会推薦の荒物屋委員をお願いしたいと思います。

(司会)

ありがとうございます。

それでは、委員長からご挨拶を頂戴したいと思います。岡元委員長からお願いいたします。

＝岡元委員長挨拶＝

(司会)

ありがとうございました。これより議事に入りますが、本日は、13名中12名の委員にご出席いただいておりますので、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第6条第2項に基づきまして、本協議会が成立していることをご報告申し上げます。

なお、本日の会議は、20時頃を目途に終了したいと考えておりますので、円滑な議事の進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。また、この協議会の議事録を後日苫小牧市のホームページで公開いたしますので、よろしくお願いします。

それでは、これからの議事進行は、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第5条第4項に基づき、委員長をお願いしたいと思います。岡元委員長、よろしくお願いいたします。

5 議事

(委員長)

それでは、議事1の「第2次苫小牧市食育推進計画の取組状況について」事務局から説明をお願いします。

(健康支援課主事)

第2次苫小牧市食育推進計画の取組状況について、令和6年度の実施結果と令和7年度の実施計画について説明いたします。資料1をご覧ください。

まず、今回新たに委員となられた皆様もいらっしゃいますので、改めて本計画の概要をご説明いたします。

「苫小牧市食育推進計画」は、平成29年11月に策定された第1次計画を経て、令和4年度から令和8年度までの5年を対象とした第2次計画として策定しております。

本計画では、「生涯にわたって健全な食生活を実現し、豊かな心と健やかなからだをつくれます」の基本理念を実現するための基本目標として、1「食」を学び、健康なからだをつくれます、2「食」を楽しみ、感謝の気持ちを育みます、3「食」にふれあい、食育への理解を深めます、の3つを掲げております。

基本目標1に関する事業では、基本的な食習慣の形成による健康的なからだづくりにつながるものとして、各種健診や健康づくりに関する講習会など、24事業に取り組んでおります。

基本目標2に関する事業では、食の楽しさを学び、マナーや感謝の気持ちを育むものとして、学校給食における郷土食の提供や、地場産品を味わうイベント、食品ロス削減への意識を高める事業など、23事業に取り組んでおります。

基本目標3に関する事業では、新たな生活様式を取り入れ、デジタル化に対応した食育を推進するものとして、共食に関する事業や、SNSなどのデジタルツール等を活用し特に若い世代への食育を推進する事業として、10事業に取り組んでおります。

資料1の中央の欄に、これらの各事業における令和6年度の実施結果を記載しております。

す。

基本目標 1 に関する 24 事業のうち、令和 6 年度は「A：順調」の評価が 19 事業、「B：やや順調」の評価が 5 事業、基本目標 2 に関する 23 事業のうち、「A：順調」の評価が 17 事業、「B：やや順調」の評価が 6 事業、基本目標 3 に関する 10 事業のうち、「A：順調」の評価が 9 事業、「B：やや順調」の評価が 1 事業という結果となっており、57 事業全体では「A：順調」の評価が 45 事業、「B：やや順調」評価が 12 事業という結果でした。令和 5 年度と比較すると、「A 評価」の事業が 3 つ増加しており、全体としてはおおむね順調に推進できているものと評価しております。

具体的に今回 B 評価とした事業の一部について内容をご説明させていただきます。

まず、No. 15 の特定健康診査・特定保健指導につきましては、特定健康診査受診率 35% の目標に対して結果が 32.3%、特定保健指導実施率目標 30% に対して結果が 11.4% となっており、目標値には届いていないため B 評価としておりますが、道内の平均受診率 30.6% を上回る結果となっております。

令和 7 年度につきましては、休日の集団検診において、回数や時期の見直しを行うなど、若年層の受診率向上に努めてまいります。

次に No. 19 の在宅高齢者給食サービスにつきましては、在宅の高齢者が健康で自立した生活ができるよう、アセスメントを行った上で定期的に居宅を訪問し、栄養バランスの取れた食事の提供を行うものです。民間配食サービスの普及等により利用数としては減少傾向にあるため、B 評価としておりますが、安否確認も兼ねた見守り事業としての機能もあることから、令和 7 年度も継続して実施してまいります。

No. 50 児童センター料理教室につきましては、令和 6 年度は、センター側の諸事情により開催に至っておらず、B 評価としておりますが、令和 7 年度につきましては、センター 1 か所で開催を予定しております。以上が、B 評価とした事業の概要となります。

次に、令和 7 年度の各事業における実施計画の一部の事業内容についてご説明させていただきます。資料 1 の右側 2 列になります。

まず NO. 20 「健考・健幸 DAY」ですが、これまで健康や食に無関心であった層も巻き込んだイベントとするため、イオンモール苫小牧店を会場とした体験型健康イベントの開催を 9 月 23 日祝日に予定しております。イベントでは北海道大学 COI-NEXT 協力による、大腸を模した迷路型クイズ「うんちラボ」をはじめ、食育アプリの体験やベジチェック体験など複数の体験ブースを企画しているところでございます。

次に No. 28 「献立内容の充実」につきましては、6 月にシカ肉料理を全 37 小中学校で給食の提供予定としております。こちらは、環境生活課が実施するエゾシカ捕獲事業と連携するもので、給食でのシカ肉提供は今回初めての取組となります。

次に NO. 54 「オンライン健康教室」ですが、計画策定時はオンラインで実施していましたが、現在は対面で実施しております。令和 7 年度につきましては、これまでの保健センターでの開催に加えて、新たに COCOTOMA でも 4 回の栄養教室の開催を予定しております。初回は先週 22 日木曜日に腸活をテーマとして 1 時間の教室開催を実施したところでございます。

これら以外にも、資料に記載の事業について、引き続き各担当課にて着実に実施してまいります。今後も市民の皆さまの食育推進に向け、効果的な取り組みを継続してまいります。説明は以上になります。

(委員長)

それでは、ただいま説明のあった議事1につきまして、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いします。

御質問がなければ、「第2次苫小牧市食育推進計画の取組状況について」につきましては、承認とさせていただきますが、御異議ありませんか。

＝異議なしの声あり＝

では、承認とさせていただきます。続きまして、議事2の「食育月間等の取組状況について」について、事務局より説明をお願いします。

(健康支援課栄養士)

私から食育月間及び年間取組についてご報告させていただきます。資料 2-1 をご覧ください。まず、令和6年度の年間取組事業結果を報告いたします。1の食生活改善普及運動月間について、厚生労働省では毎年9月を当月間と定めています。令和6年度はファミリーマートの市内店舗にて、POPの掲示をお願いしました。店舗によって掲示可否はあるんですが、令和7年度はより多くの店舗での掲示をお願いしたいと考えております。

2につきましては市民生活課で発行している「くらしのニュース」につきまして、令和6年度から年4回のペースで健康支援課のコーナーを掲載してもらっています。昨日発行された令和7年6月号には食育月間の特集記事というのも掲載していただきました。「くらしのニュース」は公共施設やスーパーマーケットで配布しているほか、市ホームページからも見ることができるものです。こちらには旬の食材を使ったレシピなど、今後も継続して季節に即した内容の情報発信を行ってまいります。

3の教育福祉センター食育コーナーにつきましては、乳幼児健診を行っている会場内に掲示を行い、来所された子どもと、その保護者に対して知識を伝える場としております。具体的には、写真にありますように、ジュースに含まれている砂糖量を示すパネルを掲示しているほか、1日の食事量の目安を示すフードモデル等を展示しております。乳幼児健診というのは待ち時間が発生しますので、その間に保護者の方が特に砂糖の量のパネルを熱心に見てくださっている印象があります。食育推進計画の中には、子どもの肥満についてという値がありますが、お菓子やジュースの頻度や量というものと関連が深いものですから、令和6年度はこのパネルを新しくすることで、啓発活動に力を入れました。

4の児童センターへのポスター掲示につきましては、令和5年度より、青少年課へご協力いただき食育ポスターの掲示を実施しております。こちらは令和7年度も引き続き実施したいと考えております。

その他の3課合同の栄養士連絡協議会というのは、年1回市の栄養士が情報交換を行う場として集まっているものです。もともとは健康支援課とこども育成課の栄養士、主に市立保育園の食育や給食に携わっている課なんですけれども、こちらの栄養士との情報交換として行っていたのですが、令和5年度から給食共同調理場の栄養士にも参加していただいています。令和6年度は、このあとお話しします令和7年度食育月間のテーマについても協議いたしました。

次に、資料2-2をご覧ください。令和7年6月の食育月間における取組についてご説明させていただきます。

1の市役所ロビーパネル展につきまして、栄養士連絡協議会で協議し、テーマを学校給食といたしました。第2次苫小牧市食育推進計画策定時に、食育に関心がある人の割合は6割以下だったのですが、令和7年3月に農林水産省が示した「食育に関する意識調査報告書」における、食育に関心がある人の割合は8割程度でしたので、全国に比べて本市の食育への関心は低いのではと考えます。そのため、市民にとってより身近で親しみやすい「学校給食」を取り上げることで、市民の関心を高めながら知識の普及啓発に努めてまいります。そのため、例年は健康支援課単独でパネル展等の活動を行っていましたが、令和7年度は学校給食共同調理場の栄養士に御協力いただいております。現在パネル等展示物の作成をしているところです。人気の給食メニューなどでアイキャッチしつつ、野菜が摂れるレシピの配布なども行い、健康意識も高めながら関心を持っていただくような内容で企画しております。具体的に、市の栄養士のおすすめとして給食で人気のあるメニューですとか、家庭で作りやすいメニューをピックアップして、ブロッコリーの胡麻和えとかバランスアップサラダなどがとても人気があると聞いているのですけれども、こういったレシピ5〜6種類をご自由にお持ちくださいという形で配布を予定しております。また、見ていただきたいくて本日お持ちしたのですけれども、給食共同調理場で使用しているような、大きなヘラだったりおたまといったものもアイキャッチとして使おうかと思っておりますので、こういったものを6月から市役所1階ロビーに展示の予定をしております。

2は中央図書館における取組です。令和7年度は新しい試みとして、ガラス展示コーナーを利用させていただけることになりました。写真ではおひなさまが展示されているスペースに、歴代の学校給食食器等を展示する予定です。また、貸出カウンター前をお借りしてパネル展とクイズ展示も行います。クイズは令和6年度に実施したところ大変好評でして、期間中119名の参加がありましたので、令和7年度も同程度の参加人数を見込んでおります。なお、こちらに関しても給食に関連する内容で作成しています。食育月間および年間取組については以上です。

(委員長)

ただいま説明ありました。報告事項になりますが、議事2についてご質問、ご意見などございますでしょうか。それでは同じく報告事項になりますが、それでは、議事3の「苫小牧市食育人材バンクの実施状況」について、事務局から説明をお願いします。

(健康支援課保健担当主査)

私から苫小牧市食育人材バンクの実施状況についてご報告させていただきます。資料3 苫小牧市食育人材バンク実績をご覧ください。

食育人材バンクは食育に関わる様々な分野の達人である食育人材バンク講師を地域の様々な場所に派遣し、食育活動を推進していくものです。食育人材バンク登録者は別紙講師名簿をご覧ください。現在個人登録が6件、団体登録が5件の計11件の登録となっております。

令和6年度の苫小牧市食育人材バンク実績は依頼数が31件、参加人数が延べ2,024名であり、前年と同様の依頼がありました。依頼状況としては、約2/3が幼稚園や保育園であり、キノコのホクトやヤクルトの依頼が多い状況です。年代に合わせた内容を講師の方が組み立ててくれるため、例えば幼稚園や保育園児に対してはクイズで学んだり、ヤクルトマンと一緒に体操をしながら楽しく食育を学ぶことができおり、基本目標1の「食を学び、健康な体を作ります」の一助となっております。また、令和6年度から連携協定企業の協力を得て、希望団体にベジチェック体験も合同で実施しております。ベジチェックは手のひらを機械にかざすことで、普段の野菜摂取量が分かるものです。令和6年度は5件実施しており、希望団体自体は9件ありまして、ニーズは高い状況です。

なお、令和7年度は申し込み方法を電話、ファックス、メールのほか、新たに2次元コードでの申請も受付を開始し、より申し込みをしやすく工夫しております。5月9日時点で依頼件数は33件いただいております。食育人材バンクの報告については以上でございます。

(委員長)

ただいま説明のあった議事3について、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いします。

それでは、最後にその他として、議事全体を通して、委員の皆様からご質問やご意見等があれば挙手をお願いいたします。

(宮崎委員)

2つあるのですが、1つは第2次苫小牧市食育推進計画の令和7年度計画については承認されましたし、これでよろしいのかなというふうに思うんですが、さらに来年度以降の話になると思うんですけども、例えば、苫小牧はスポーツ都市宣言をしていますが、スポーツに関する部分はあまり載っていないというふうに感じました。

例えば、資料1の3/6ページ22番の出前講座で、健康全般のというふうにありますけども、スポーツ力向上とか、そういった観点での食育はあんまりされてないのかなというふうに思いました。20番とかも少しありますが、肥満の解消のことだと思いますので、苫小牧には色々なスポーツチームがありますが、それは小学校レベルから社会人までであると思いますが、そういった、どのような栄養素が必要で、こういうスポーツにこういう栄養を

撰った方が良いついていうのもあると思いますので、そのスポーツ力が向上するような施策があってもいいのかなと思いました。それが最後の資料3の食育人材バンクなのかもしれないですけども、その辺をもう少し取り組めたらより良いのかなと思いました。

もう一点は、課の自己評価ですので、これが適切なのかどうかというのは、そういう議論にするつもりは全くないのですけれども、CとDが無いので、非常に順調なのかなと思いますが、一方では、先ほど食育への関心は全国に比べてあまり無いという話があったりとか、この資料だけだと、すごく順調そうに見えるのですけども、本当にそうなのかというのは話を聞いていてありました。なので、金澤市長も人口20万人都市を目指しているという話ですから、苫小牧で食育ってこんなに素晴らしいことやっているという、選ばれる街の一つの要素になっていったら良くなると思いますので、何が正解か分からないですけど、例えば他の自治体のベンチマークをするですとか、なにか比較、先ほどの食育の関心も一つのKPIかもしれないですけども、何か本当に順調なのかというところと、それから何かの比較対象があって、なかなかスコアにはできないのでしょうけど、苫小牧は何点で他の自治体よりもこれだけ良いとかというのがもしあったら、あるいは逆にもっと頑張らなきゃいけないというのが見えたら、ちょっと難しい話かもしれないですけど、あるとより良いのかなと感じました。

(委員長)

ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

(健康こども部長)

貴重なご意見ありがとうございます。最初にスポーツの関係でございます。こちらの方につきましては基本的に私ども健康支援課の所管の中で、健康増進計画という計画を別に持っております。その中で、スポーツをすることによって、健康増進を図るというようなものも取り上げてはいるのですが、この食育推進計画の中ではその部分が、あまり触れていないというご指摘をいただきました。今、まずこの第2次食育推進計画につきましては、この中の取組で進めて参ろうというふうに考えているところですが、これも令和8年度までの計画になっていますので、この後また数年後には第3次の推進計画も立てることになります。今、いただきましたご意見も参考にさせていただきながら、スポーツと食というところの観点を、取り入れることができるのかどうかというところにつきましては事務局の方で今後検討させていただきたいと思っております。

それから2点目に自己評価のお話でございました。確かにご指摘のとおり、今回この50数施策につきましては、各課の自己評価によって提示をさせていただいておりますので、その部分が正しいのか正しくないのかというご指摘はごもっともだと思っております。今皆様のお手元に食育の推進計画があろうかと思います。各基本方針によって、取り組むべき目標値というのは定めているところではあるんですが、そのところを毎年、実は正直申し上げまして、追跡をできていると言われると、なかなかできてないというところが、私ども

としては反省点であろうかなと考えております。

この2次計画を総括するときには、改めてその実施目標に対してどれだけの達成度が出ているのかというものは、お示しをさせていただきたいと思っておりますが、それでは毎年のチェックというものが希薄になる、できない状況だとか指摘をいただいても仕方がないのかなと思っています。私どもとしてはその辺を踏まえて、評価のあり方というところについて、もう少し分かりやすい形でお示しできないかということについて、内部で検討させていただいて、委員の皆さんに分かりやすい進捗状況も含めた提示の方法というのは考えさせていただきたいと思っております。

(宮崎委員)

もしかしたら、意図が伝わりにくかったかもしれないです。課の評価自体は、先ほど申し上げたとおり、これはAじゃないですか、Bじゃないですかというよりも、苫小牧市の食育推進計画であったり、食育に関して市のサポートというものが他の自治体と比べてどうかという視点が必要だと思うんですね。例えば隣の市はこんなことやってる、あんなことやっている、じゃあパパとママはそっちに行くというのがあり得るかなと。もちろん居住地を選ぶのは色んな要素がありますが、まさにラピダスが進出してきて、これからどの都市で生活するのが良いんだろってなった時に、やはり子育てというのは非常に重要なテーマになってくると思うんですね。もちろんこの食育というのも非常に重要で、こういうサービスが苫小牧では受けられる、というのがあるかどうかというのも、すごく大切なのかなと思いますので、今このA、Bが多いっていうのは、ある意味すごく良いことだと思うんですけども、それだけではなくて、この資料に囚われずに、ということなのかもしれませんけれど、苫小牧市の食育に関する現状というのが、北海道、あるいは日本なのか、ちょっと分からないですけども、他と比べて実際どうなのかっていう見方、アプローチも必要じゃないかという話です。

(委員長)

事務局いかがですか。

(健康こども部長)

ご指摘ありがとうございました。確かに他市との比較という部分も一つの自分たちの計画がどの程度進んでいるか、というところが分かりやすい物差しになり得ると思っております。その辺のところも含めて、今いただいたご意見を参考にさせていただきながら、より良く分かりやすい評価に繋がるような取組を進めてまいりたいと思っております。

(野村委員)

食育人材バンクについてなんですが、何年か前にもこういう取組すごく良いですねということでお話したと思うんですが、このデータを見ていると、保育園関係、幼稚園関係が多

いので、学校関係が少ないなと思うんですけど。私どもの地域の小学校は確か、ホクトさんを去年呼んだとか、ヤクルトさんと呼んだっていうのを学校だよりでよく見たのですが、ここには載ってないなと思いまして、申し込みの方法というのか、その辺が学校によってやり方違っていいのかと、そういう感覚を受けました。沼ノ端中学校は載っていますが、あとはほとんどが保育園、幼稚園関係なので、もっと小学校関係で、ちょうど子どもたちがホクトさんでしたら、きっとキノコが嫌いな子が多いと思うんですけども、紹介をしてくれた方はすごく分かりやすく良かったという子ども達の意見を聞いていたものですから。申し込みがどのようになっているのかなということが気になりました。

(委員長)

事務局いかがでしょうか。

(健康支援課栄養士)

ご質問ありがとうございます。まず、小中学校につきましては資料1の、11番のところに食に関する指導というものがあまして、栄養教諭が、市内の令和6年度は小学校、令和7年度は小中学校になるんですけども、こちらの方で食育の授業というものを行っております。こちらなんですけれども、栄養教諭が市内に5名おりまして、小中全ての学校に常駐しているわけでは無いものですから、各学校の方に今年度、何年生を対象に授業を行いますかというような、アンケートのようなものを配布しています。その中で、今回栄養教諭の授業では実施できなかったとしても、食育人材バンクというものがありますよというような案内文書が市内の各小中学校には配布されています。ただ、食育人材バンクのチラシですとか、申込書と一緒に入っているわけではないと聞いておりましたので、そちらも合わせて、設置できたら良いかなと思いました。

(委員長)

よろしかったでしょうか。他ございますか。

(荒物屋副委員長)

私、今回初めてだったので資料を事前にいただいたんですが、簡単にしか見ていなかったっていうのが正直なところなので、感想だけちょっと言わせていただきたいと思います。

基本目標を食育推進計画の下で、令和4年度から8年度までの計画として、今進められているというところで、折り返しを過ぎて残り2年の、この第2次計画の終わりに近づいているという中で、この7年度の実施計画の予定とかを見させていただいて、多岐にわたる計画、事業をそれぞれの課でやられていくんだっていうのを、まずはこの計画通り進んでいけるよう、皆様によろしくお願ひしたいと思います。その中で感じたことを、次回の計画とか、色んなものに反映していただければということをお願いしながらこの計画を見させていただきました。3次計画に向けてを頭に入れながら考えて、こういう実施計画を進めているの

かな、というふうに思っているのですけども、その点はどうでしょうか。

(委員長)

事務局いかがでしょうか。

(健康支援課長)

感想とご質問ありがとうございます。先ほど部長の方からもお答えしておりますけれども、現在の2次計画が令和8年度までということで、3次計画に向けて遅くとも今年度末ぐらいからは動き出しを見せなければいけないというところです。その中で今アンケートに関するお話や、スポーツとのコラボレーション、他市との比較といったような様々なご意見をいただいておりますので、こういったご意見を参考にしながら、3次計画をどのように進めていくのかというのを検討させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(委員長)

その他ございますか。

(浅倉委員)

昨年も質問させていただいたんですけれども、消費者協会で昨年、給食センターに見学に行きました。行った時はもう給食が終わった後だったんですけれども、すごく残っているんですね。給食センターに行って私たちも給食を食べられるのかどうか、お金を出せば、試食できるのかどうかをお聞きしたいです。

(委員長)

事務局お願いします。

(学校給食共同調理場長)

昨年はありがとうございました。今現在、いわゆる試食会というものについては、小中学校の保護者の方向けの試食会ということで、コロナが明けてから再開をして、今に至っております。今現在でいきますと、基本は学校での参観日などで保護者の方が集まる時に、試食会も合わせてやるということでございます。

ただ、その一方で今委員がおっしゃったように、お子さんが卒業してしまったけれども、やはりそういう試食というか、今の給食をちょっと食べてみたいという声は多くいただいております。今後に向けて、まだ具体的に検討しているわけではないのですが、保護者の方だけではなくて、広く市民の方にも知っていただく場面としては、給食センターが市内に2つございますので、まずその2箇所、日程を絞って、参加人数も絞ってですとか、あと必要な経費については、一定程度いただいてということで、できるかどうかは検討して考えて

いきたいなというふうに思っております。

(委員長)

他に、ございますでしょうか。

以上で本日予定していた全ての議事が終了いたしました。スムーズな議事進行にご協力いただき誠にありがとうございました。

(司会)

岡元委員長ありがとうございました。委員の皆様におかれましても活発なご意見をありがとうございました。本日頂戴いたしましたご意見につきましては、担当部署と情報共有させていただき、今後の食育活動に繋げてまいりたいと考えております。

尚、本計画は令和8年度までとなっておりますので、今後、第3次計画の策定に向け、委員の皆様にはご協力をいただく場面もあるかと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして令和7年度苫小牧市食育推進協議会を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございました。